

水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（6月18日現在）

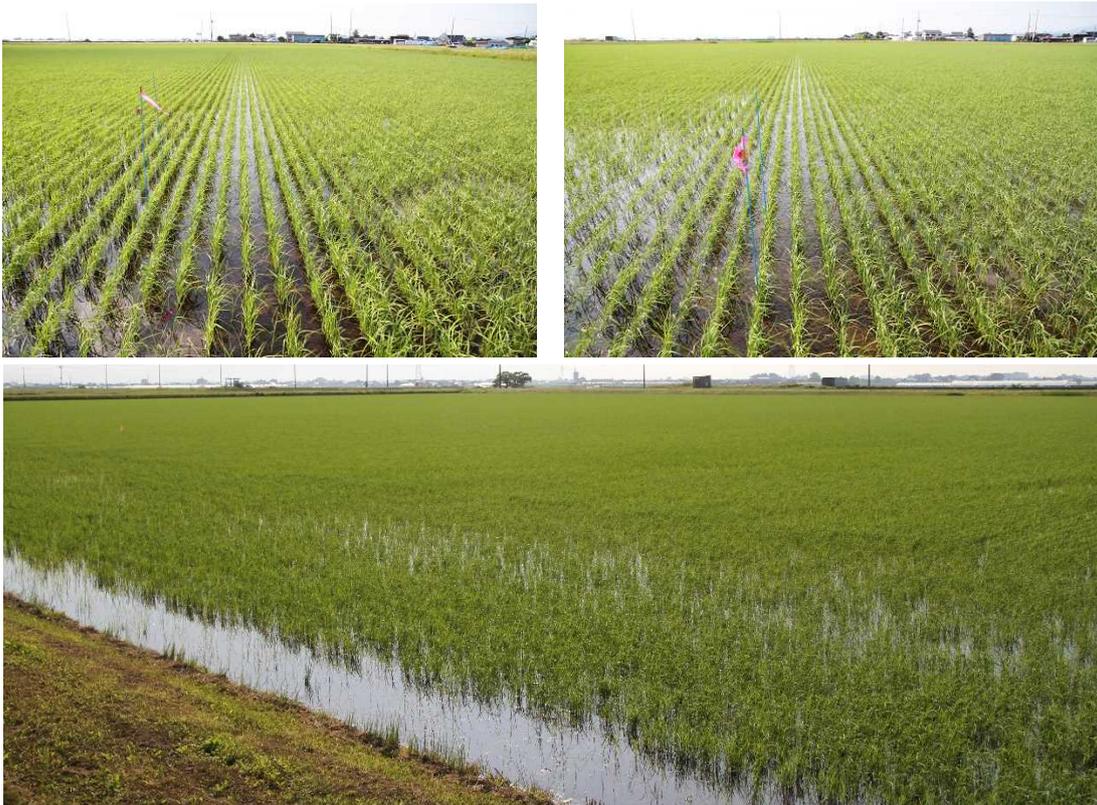
■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種
キヒゲンR2フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月28日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）



播種作業の様子

■ 生育状況



6月18日現在のイネの生育は、水深が浅い地点（5cm程度、写真左上）で草丈が34.5cm、茎数が795本/m²、水深が深い地点（10cm程度、写真右上）で草丈が37.2cm、茎数が630本/m²でした。生育は順調で、それぞれの調査地点で十分な茎数が確保されています。

■ 栽培管理のポイント

- ・ 茎数を十分確保した圃場では、雑草と無効分げつの発生を抑制するために10cm程度で深水管理することを推奨します。
- ・ 一発除草剤による雑草の取りこぼしが多い場合は、中・後期除草剤での防除が必要ですが、残草している草種によって選択する除草剤は異なります。除草剤の使用方法に不安があるときは、農林総合研究所にお問い合わせください。

※ 農薬を使用するときは、必ず最新の農薬登録情報を入手して、直播栽培に登録があることを確認してください。



稲は深水で葉を伸ばす

水稻は深水に強い植物。
葉を伸ばして生育します。



ヒエは深水で死んでしまう

一方、ノビエは深水に弱い植物。
除草剤のダメージと5~6cmの
水深の相乗効果で、枯死します。
(写真は観察用の目印とその後
枯死するノビエ。)

- 一発除草剤の散布後7日以降は水深を5~6cmにします。
- 慣行栽培では浅水管理で分げつを促しますが、この栽培では浅水管理の分げつ促進効果はそれほど期待できません。その分、播種量を多くして茎数を確保しています。
- この時期の浅水管理は、雑草再発生のリスクを伴います。極端な深水管理は分げつを抑制します。したがって、少し深めの5~6cmの水深で管理します。

一発除草剤散布後の水管理

(水稻V溝乾田直播栽培マニュアル)